

令和 3 年度 学校関係者評価及び改善策

( 中間 **最終** )

両城中学校区 校番 14 学校名 呉市立両城中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	生徒の現状と、そこから目指す生徒像を踏まえての具体的な目標、指標となっており適切であると思います。 目標、指標に向けて、全教職員が個々の生徒の実態を把握したうえで丁寧に向き合っていけるよう、教職員間の連携(報・連・相)を、今後も密にお願いします。
目標達成のための方策の適切さ	A	目標に対して、それを達成するための方策が考えられているので適切であると思います。 家庭学習における目標時間の設定はもちろん大切ですが、基礎学力が身に付いていないため、何をどのように勉強してよいか分からない生徒もいると思います。そういった生徒には、その実態に応じた課題の提供や具体的な学習方法の助言をお願いします。
自己評価の結果の分析の適切さ	A	概ね目標の数値を達成しており適切であると思います。 保護者との連携を図りながら、自分で学習の計画を立て、家庭学習とスマホで遊ぶ時間とのコントロールが自分でできるようになるための、個々の実態に即した生活習慣の指導をお願いします。
今後の改善策(案)の適切さ	A	結果の分析を踏まえての具体的な改善策になっており適切であると思います。 「教えて考える授業」、並びに「自己肯定感・自尊感情を高める授業づくり」の充実を図っていくことは、主体的に思考・判断し、表現する力を持つ生徒の育成において重要な柱だと思います。そのためにも、さらなる教職員の質的向上と授業改善の工夫を期待します。
その他		この1年も、コロナ禍において、総合学習、生徒会活動、部活動等の諸活動や、学校並びに学年行事が、規模縮小、延期、中止となり、大変だったことでしょう。また、日頃の学校生活での感染予防対策にも並々ならぬご苦勞を重ねてこられたことと思います。そんな厳しい条件の中で、生徒たちが自主的に活動し、できる限り貴重な体験を重ねることができるよう御指導、御尽力いただいたことに対して、先生方に心より感謝申し上げます。 いまだに収束に至らないコロナ禍において、生活のリズムをつくるのが時として難しい中、進路に関する不安や人間関係に悩む生徒もいるのではないかと思います。 本校生徒が、どの子も孤立感を感じることなく学校生活を送ることができるよう、常に声掛けをしながら、生徒に寄り添っていただけるよう温かいご指導を今後ともよろしくお願いします。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<p>「新しい学校の生活様式」新型コロナウイルス感染症等、生徒の安全確保と学力保障である。健康教育、人権教育、情報モラル教育の3つの視点から感染症対策を進めると共に、学習内容を重点化し、学びの保障を行う。</p> <p>○主体的な学び(「考える授業」づくり)の実現に向けて、「教えて考えさせる授業」を柱に、授業改善を進め、学校全体の授業力を向上させる。そのためにICTの活用をさらに推進する。</p> <p>○生徒の学習に関するメタ認知を向上させ、学力の定着を図る。</p> <p>○「自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力」を向上させる。</p> <p>○生徒主体の授業づくり・学校生活づくりの推進を継続し、学校に対する誇りと自信をさらに持たせる。</p> <p>○生徒の自己指導能力をさらに高める。</p> <p>○防災教育の充実を図り、「自分の命は自分で守る」力をさらに向上させる。</p> <p>○時間の3点固定の取組(勉強を始める時間・就寝時間・起床時間の時間を日記に記入)とPTA宣言を守る取組を保護者と協力して推進し、生徒が自分の生活を自分でコントロールし、主体的に生活習慣を確立するように指導する。</p> <p>○働き方改革を推進し、教職員が意欲と能力を発揮できる環境を整備する。</p>
--------------------	--